

具体的な取組の柱		実施する機関					平成28年度				平成29年度				平成30年度				平成31年度				平成32年度				備考		
事項	実施期間	倉吉市	北栄町	湯梨浜町	三朝町	鳥取県	倉吉河内	第一四半期 4～6月	第二四半期 7～9月	第三四半期 10～12月	第四四半期 1～3月	第一四半期 4～6月	第二四半期 7～9月	第三四半期 10～12月	第四四半期 1～3月	第一四半期 4～6月	第二四半期 7～9月	第三四半期 10～12月	第四四半期 1～3月	第一四半期 4～6月	第二四半期 7～9月	第三四半期 10～12月	第四四半期 1～3月	第一四半期 4～6月	第二四半期 7～9月	第三四半期 10～12月		第四四半期 1～3月	
1-5-4	夜間・荒天時の避難勧告等の発令基準の作成・避難誘導体制の検討	●	●	●																									
1-5-6	避難所開設等災害対応人員の確保	●	●	●																									
1-6市長・町長に対し助言を行う者の育成及び派遣																													
1-6-1	市長・町長に対し助言を行う者の育成及び派遣	○	○	○	○	○																							
1-6-2	河川防災担当職員等を対象とした研修の実施	○	○	○	○	○																							
1-7防災教育(学習)や防災知識の普及																													
1-7-1	防災教育の指導内容及び地域の特性に合わせた教材等の作成	○	○	○	○	○																							
1-7-2	小中学校などと連携した天神川水系の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充	○	○	○	○	○																							
1-7-3	自主防災組織(自治会等)を対象とした防災知識の普及及び防災マップの作成支援の拡充	●	●	●	○	○																							
1-7-4	学校教育関係者向け研修や講座等の開催及び講師等の派遣	○	○	○	○	○																							
1-7-5	河川防災に関わる市町の防災担当者向けの説明会の開催																												
1-8避難を促す状況情報の提供																													
1-8-1	「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のための周知																												
1-8-2	避難の目安となる目標物やリアルタイム映像の配信・共有																												
1-8-3	自主防災組織(自治会等)への情報提供の現状と課題把握を踏まえた災害時の情報収集方法等の周知	●	●	●	○	○																							
1-8-4	スマートフォン等によるプッシュ型の洪水情報発信																												
2. 急流河川の地域特性に応じた効率的・効果的な水防活動																													
2-1水防活動に資する基盤等の整備																													
2-1-1	河川のリアルタイム映像(GCTV)の配信、共有(行政向け)	○	○	○	○	○																							
2-2水防活動の効率化及び水防体制の強化																													
2-2-1	洪水に対しリスクが高い区間について、水防団や自主防災組織(自治会)が参加した合同点検																												
2-2-2	水防技術講習会、関係機関が連携した実践的な総合水防訓練	○	○	○	○	○																							
2-2-3	備蓄水防資機材の情報の共有、非常時の相互支援方法の確認	○	○	○	○	○																							
3. 長期化する浸水を一日も早く解消するための排水活動																													
3-1排水計画の作成及び排水訓練の実施																													
3-1-1	排水手法の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画の作成	○	○	○	○	○																							
3-1-2	排水計画に基づく排水訓練の実施	○	○	○	○	○																							
3-2排水活動に資する施設等の整備																													
3-2-1	効果的・効率的な排水施設、釜場等の(施設)整備	●	●	●	●	●																							

●:取組計画書の作成機関 赤:市町の取組、緑:県の取組、青:国の取組

具体的な取組の柱		実施する機関	平成28年度				平成29年度				平成30年度以降				取組状況							
			第一四半期	第二四半期	第三四半期	第四四半期	第一四半期	第二四半期	第三四半期	第四四半期	第一四半期	第二四半期	第三四半期	第四四半期								
事項	目標時期	倉吉市	北栄町	湯梨浜町	三朝町	鳥取県	倉吉河内	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	取組の現状、課題	今後の予定	
協議会開催	毎年出水期前	○	○	○	○	○	○	7月6日開催 第1回協議会	10月7日開催 第2回協議会	5月17日開催 第3回協議会					4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		第4回協議会	・H28.7.6第1回協議会開催 ・H28.10.7第2回協議会開催 ・H29.5.17第3回協議会開催	・H29.5.17第3回協議会開催予定
幹事会開催	毎年4月・2月	○	○	○	○	○	○	7月21日 8月13日	3月28日	4月27日											・H28.7.21第1回幹事会開催 ・H28.8.18第2回幹事会開催 ・H29.3.28第3回幹事会開催	・H29.4.27第4回幹事会開催予定
1. 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確かな避難行動のための取組																						
1-1 洪水を安全に流すためのハード対策の推進																						
1-1-1 浸透対策、パイピング対策、流下能力対策の実施 天神川 牧地区(パイピング対策、流下能力対策)の実施	H32							設計												・H28年度設計に着手	・H29年度幅杭設置	
国府川 米積(パイピング対策、流下能力対策)の実施	H32								施工											・H26年度から事業継続中	・H29オケ崎堰改築	
小鴨川 中流部(流下能力対策)の実施	H32							施工	施工											・H23年度から事業継続中	・現在福山地先掘削中	
1-2 危機管理型ハード対策の推進																						
1-2-1 堤防天端の保護を目的とした舗装の実施	H28							現地施工	対策完了											・H28年度に対策完了		
1-3 避難行動に資する基盤等の整備																						
1-3-1 洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	順次実施								危険箇所の把握											・危険箇所の把握済み	・危険箇所の監視方法、施設配置計画の検討を早急に行い、順次施設整備を行う	
1-3-2 避難の目安となる目標物等のリアルタイム映像の提供設備の整備	順次実施								整備方針の検討 基準観測所の10分間静止画像の提供											・整備方針を検討 ・静止画サーバーの設置	・H29出水期までにHPにて基準観測所の10分間静止画像を提供出来るよう整備(4月末HPアップ)	
1-3-3 想定最大規模降雨の浸水想定区域図に基づく行政機関の災害対策本部等の機能確保対策の検討	H28~検討実施	●	●	●	●	●	●		機能確保対策の検討 災害対策室の移設											・倉吉河川国道事務所においては想定最大規模降雨の浸水想定区域をもとに災害対策支部の機能確保対策を検討	・倉吉河川国道事務所においては、平成29年度より順次整備 ・市町においては、国・県の浸水想定区域合併図(以下浸水想定区域合併図という)作成後に検討開始	
1-3-4 避難場所・避難所の確保及び関係防災施設等の整備についての検討・調査	H28~検討実施	●	●	●	●	○	○													作成支援・情報提供	・鳥取県が天神川氾濫に関する河川における想定最大規模降雨を対象とした浸水想定区域等を検討中であり、国の浸水想定と合わせたもの(浸水想定区域合併図)で検討する必要がある	・浸水想定区域合併図をもとに検討を実施
1-4 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等																						
1-4-1 県管理区間や天神川氾濫に関する2級河川における想定最大規模降雨を対象とした浸水想定区域図及び氾濫シミュレーションの公開	H29								検討・作成	公表										・鳥取県が天神川氾濫に関する河川における想定最大規模降雨を対象とした浸水想定区域等を検討中	・鳥取県がH29年9月に天神川の氾濫に関する河川の浸水想定区域図等を公表予定 ・公表を受けて浸水想定区域合併図を作成(国・県)	
1-4-2 天神川直轄区間・県管理区間及び天神川氾濫に関する2級河川における想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図、新たに設定された家屋倒壊等氾濫想定区域、土砂災害警戒区域等に基づく避難場所、避難所、避難経路の設定及び避難計画の見直し	H28~検討実施	●	●	●	○	○	○													国・県の浸水想定区域合併図を作成	・鳥取県が天神川氾濫に関する2級河川における想定最大規模降雨を対象とした浸水想定区域等を検討中であり、国の浸水想定と合わせもので検討する必要がある	・2級河川との浸水想定区域合併図をもとに検討を実施 ・避難場所・避難所確保数の検討(市・町) ・危険性についての検討(市・町) ・防災施設設置の検討(国・県) ・広域的な避難の必要性の検討(市・町) ・広域的な避難の関係機関との協議・調整(市・町) ・発令基準の作成(夜間・荒天・広域)(市・町) ・人員の確保・避難誘導体制の検討(市・町) ・避難計画の見直し(市・町) ・ハザードマップの作成・配布(市・町) ・策定支援・情報提供(国) ・避難場所・避難所、避難ルートの設定(市・町)
1-4-3 広域的な避難の検討及び必要に応じ関係行政機関との協議・調整を図り、ハザードマップへ反映																				作成支援・情報提供		
1-4-4 想定最大規模降雨の浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・自主防災組織への配布																						
1-5 避難の円滑化・迅速化を図るための取り組み																						
1-5-1 想定最大規模を想定した、住民避難に着目したタイムラインの更新	H29~	●	●	●	○	○	○														・1-4-2解決後に想定最大規模を想定したタイムラインを更新	
1-5-2 県管理区間の氾濫危険水位等の見直しに伴う市町の避難勧告等判断基準の見直し、また、これに伴う避難勧告発令等に目したタイムラインの変更	H28~検討実施	●	●	●	○	○	○		水害に対する警戒・避難情報のあり方検討会											※従来どおり運用する方針を踏まえタイムライン(L1)を変更	・鳥取県が避難勧告等のタイミングについて検討 ・当面は、鳥取県の避難勧告等判断基準を従来どおり運用する方針を踏まえタイムラインの変更を行わない	

具体的な取組の柱	事項	実施する機関	平成28年度				平成29年度				平成30年度以降				取組状況			
			第一四半期	第二四半期	第三四半期	第四四半期	第一四半期	第二四半期	第三四半期	第四四半期	第一四半期	第二四半期	第三四半期	第四四半期				
		倉吉市	北栄町	湯梨浜町	三朝町	鳥取県	気象台	倉吉河川	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	取組の現状、課題	今後の予定
	1-5-3 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成の促進	H28~検討実施	●	●	●	○	○	○	10/11	事業者説明会(県単独)	2/24・3/21	●	●	●	○	○	●10/11(県)、2/24(国・県)、3/21(国・県)説明会を実施	・引き続き説明会を実施 ・要請に応じて随時避難確保計画の策定支援・情報提供を実施 ・災害情報普及支援室の活用
	1-5-4 夜間、荒天時の避難勧告等の発令基準の作成・避難誘導体制の検討	順次実施	●	●	●	○	○	○									・鳥取県が天神川氾濫に関係する2級河川における想定最大規模降雨を対象とした浸水想定区域等を検討中であり、国の浸水想定区域と合わせたもので検討する必要がある	・1-4-2解決後に検討を実施
	1-5-5 避難所開設等災害対応人員の確保	H28~検討実施	●	●	●	○	○	○										
	1-6市長・町長に対し助言を行う者の育成及び派遣																	
	1-6-1 市長・町長に対し助言を行う者の育成及び派遣	H28~定期的に実施	○	○	○	○	○	○		研修等							・洪水予報連絡会、水防連絡会等を活用して実施を検討	・洪水予報連絡会、水防連絡会等を活用して講演会を実施
	1-6-2 河川防災担当職員等を対象とした研修の実施	H28~定期的に実施	○	○	○	○	○	○		研修等							・洪水予報連絡会、水防連絡会等を活用して実施を検討	・洪水予報連絡会、水防連絡会等を活用して講演会を実施
	1-7防災教育(学習)や防災知識の普及																	
	1-7-1 防災教育の指導内容及び地域の特性に合わせた教材等の作成	H28年~順次実施	○	○	○	○	○	○									・鳥取県内3事務所で連携して教材等を作成することを検討	・鳥取県内3事務所で連携して教材等を作成
	1-7-2 小中学校などと連携した天神川水系の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充	継続実施	○	○	○	○	○	○	H29.3.1	上小鴨小学校において出前講座実施							・H29.3.1倉吉市立上小鴨小学校において避難訓練と合わせて出前講座を実施	・鳥取県内3事務所で連携して取組を実施する
	1-7-3 自主防災組織(自治会等)を対象とした防災知識の普及及び防災マップの作成支援の拡充	継続実施	●	●	●	○	○	○									・自治会、市町の要請に基づき支援する体制の整備	・自治会、市町の要請に基づき支援
	1-7-4 学校教育関係者向け研修や講座等の開催及び講師等の派遣	H29~定期的に実施	○	○	○	○	○	○									・鳥取県内3事務所で連携して取組を実施(県・気象台とも連携)	・鳥取県内3事務所で連携して取組を実施する
	1-7-5 河川防災に関わる市町の防災担当者向けの説明会の開催	H28~順次実施								研修等							・洪水予報連絡会、水防連絡会等を活用して実施を検討	・洪水予報連絡会、水防連絡会等を活用して実施する
	1-8避難を促す状況情報の提供																	
	1-8-1 「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のための周知	H28~H29出水期まで								事務所HP等で周知	8月下旬						・事務所HPで周知(川の防災情報にリンク) ・イベント冊子に掲載し参加者に配布	
	1-8-2 避難の目安となる目標物やリアルタイム映像の配信・共有	H28~順次実施								整備方針の検討							・整備方針を検討	・H29出水期までにHPにて基準観測所の10分間静止画像を提供出来るよう整備
	1-8-3 自主防災組織(自治会等)への情報提供の現状と課題把握を踏まえた災害時の情報収集方法等の周知	H28~順次実施	●	●	●	○	○	○									・防災無線で周知していることを確認 ・防災無線以外の情報収集方法等の検討・整備・周知	
	1-8-4 スマートフォン等によるプッシュ型の洪水情報発信	H29								プッシュ型の洪水情報発信体制を整備							・プッシュ型の洪水情報発信体制を整備済み	・5月1日より運用開始 ・新聞・市町の広報にプッシュ型配信の運用開始について掲載して周知
	2.急流河川の地域特性に応じた効率的・効果的な水防活動																	
	2-1水防活動に資する基盤等の整備																	
	2-1-1 河川のリアルタイム映像(CCTV)の配信、共有(行政向け)	H28~順次実施	○	○	○	○	○	○		国から県に配信している画像を市町へ配信済み							・国から県に配信している全ての画像を市町へ配信済みであることを確認(静止画)	・洪水予報連絡会、水防連絡会を通じて再度周知
	2-2水防活動の効率化及び水防体制の強化																	
	2-2-1 洪水に対しリスクが高い区間について、水防団や自主防災組織(自治会)が参加した合同点検	H28年~定期的に実施								8/31湯梨浜町で合同点検実施							・平成28年度は下記のとおり合同点検を実施 8月31日 湯梨浜町で実施 9月26日 三朝町で実施 10月16日 倉吉市で実施	・合同点検を毎年出水期までに実施
	2-2-2 水防技術講習会、関係機関が連携した実践的な総合水防訓練	H28年~定期的に実施	○	○	○	○	○	○	9/11	水防技術講習会実施							・天神川水系総合水防演習の実施に向けて準備中	・H29.5.28天神川水系総合水防演習の実施
	2-2-3 備蓄水防資機材の情報の共有、非常時の相互支援方法の確認	H28年~定期的に実施	○	○	○	○	○	○		水防資機材の数量等を確認							・毎年度当初、備蓄水防資機材の数量等を確認し、水防連絡会で情報共有している	・出水期に向けて水防資機材の数量等を確認 ・水防連絡会で情報共有

具体的な取組の柱	実施する機関	平成28年度				平成29年度				平成30年度以降				取組状況							
		第一四半期	第二四半期	第三四半期	第四四半期	第一四半期	第二四半期	第三四半期	第四四半期	第一四半期	第二四半期	第三四半期	第四四半期								
事項	目標時期	倉吉市	北栄町	湯梨浜町	三朝町	鳥取県	気象台	倉吉河内	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	取組の現状、課題	今後の予定			
3. 長期化する浸水を一日も早く解消するための排水活動																					
3-1 排水計画の作成及び排水訓練の実施																					
3-1-1 排水手法の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画の作成	H30	●	●	●	●	○	○											排水計画の検討	・浸水想定区域合併図を踏まえて、排水計画を検討		
3-1-2 排水計画に基づく排水訓練の実施	H31~定期的に実施	○	○	○	○	●	●												排水訓練	・上記検討結果に基づき排水訓練を計画、実施	
3-2 排水活動に資する施設等の整備																					
3-2-1 効果的・効率的な排水施設、釜場等の(施設)整備	H31~順次実施	●	●	●	●	●	●													排水訓練	・上記検討結果に基づき、排水関連施設釜場等を整備

●: 取組計画書の作成機関 赤: 市町の取組、緑: 県の取組、青: 国の取組